

狛江市議会議員 (自由民主党・明政クラブ)

しの浩司

市政報告



◆ 経 歴 ◆

昭和40年(1965年)4月6日狛江市生まれ
 狛江第三小学校、狛江第二中学校卒業
 國學院大學久我山高等学校卒業
 國學院大學法学部卒業
 平成27年4月 狛江市議会議員選挙初当選

◆ 現 在 ◆

狛江市議会議員 建設環境常任委員会委員
 狛江市青少年第二育成委員会委員 副委員長
 狛江第三小学校避難所運営協議会 副本部長
 自由民主党狛江総支部 事務局長

◆ これまでの主な活動 ◆

狛江市立狛江第三小学校PTA会長
 狛江青年会議所 第25代理事長
 狛江市男女共同参画フォーラム実行委員会 委員長
 狛江市保育所父母の会連絡協議会 会長
 狛江すくすくコンサート実行委員会 実行委員長
 狛江市青少年問題協議会小委員会 委員
 狛江市市民福祉推進委員会 委員
 狛江市公立学校運営連絡協議会 委員

子育て環境の充実について

- ◎平成28年3月に策定された「狛江市(第5次)行財政改革推進計画(定員適正化編)」において、技能労務職である「給食調理」「用務」「一般作業」について、今後の考え方が示され、その中で用務については「平成29年度から一般作業と統合」し、各校に学校用務職員が常駐する形態ではなく、基本的に支援班によるローテーション対応をすることとした。

これについては平成28年第3回定例会一般質問において「清掃、樹木剪定、備品等の手入れ・補修・修繕といった学校用務に係る業務は常に発生するものであり、また突発的な事態等が発生する可能性もあるので、本来の学校業務に支障をきたさないように常駐を視野に入れて検討していただきたい」旨を要望しました。

その結果、できる限り学校業務に支障を生じさせないことを前提に、学校側や用務職員と協議をしていただき、中学校4校には学校用務職であった正規職員及び再任用職員を各校に1名ずつ配置、小学校6校についても、嘱託職員を各校1名配置し、それに加え、統合された学校用務職と一般作業職が学校を含む市内公共施設における設備や備品などの修繕、手入れ、清掃等を行い、特に学校に対しては定期的な巡回により業務を行っていただけることを、平成29年第1回定例会一般質問において確認しました。

- ◎狛江市は平成27年度に「待機児対策推進本部」を設置し、待機児対策を優先課題として、平成31年度までに待機児0を目指して前向きに取り組んでいます。

この計画により29年度も255名の保育定員拡大が実現され、待機児は昨年の142名から98名に減りました。

市のこれまでの努力は評価できますが、保育需要の高まりから予定通りに減っていないのが現状です。

平成29年第2回定例会一般質問において、今年度も待機児対策推進本部において、平成30年度以降の保育需要割合の妥当性等を検討・検証し、人口動向、保育需要数を適切に推計した上で、計画の前倒しを含めて施設整備計画の見直しを図ることを要望し、また数の確保と同時に質の確保と安定についても強く要望しました。



「多摩六市教育広報戦略協議会」と教育広報紙「ガクチキ」

昨年から教育広報紙が「ガクチキ」として生まれ変わり、とても見やすく、また親しみやすくなったと思いませんか？

これは「教育広報紙をもっと多くの方に読んでいただきたい!」の思いから、狛江市の若手職員が多摩地域各市に呼び掛け、賛同を得たあきる野市、国立市、国分寺市、多摩市、東大和市と共に「多摩六市教育広報戦略協議会」を設置し、今の教育委員会に必要な広報について平成27年度の1年間、調査・研究を行いました。

この協議会でまとめた『広報戦略の標準モデル』では、教育委員会のメッセージを読み手に伝えるために「目的やテーマの明確化」と「ターゲットの選択」が重要ということが明確になり、リニューアルにあわせてタイトルを「学校と地域を繋ぐ」という思いを込めて「ガクチキ」に変更するとともに「企画型で参加型の広報紙」をコンセプトとして、心を動かす記事や紙面構成を心がけて作っているとのことです。今後も楽しみです。

そしてここで紹介したかったのは、何よりも狛江市職員がリーダーシップを発揮し、多摩六市教育広報戦略協議会を引っ張ったことです。

このことを評価したく、また私も足を運んだ発表会当日、多くの職員が彼らの活躍を応援しに行っていた姿を議会でも取り上げました。



市議会議員1期目の2年間は社会常任委員会に所属し、付託事件を議論し、また委員会として「地域包括ケアシステム」、「子どもの貧困対策と居場所づくり」について所管事務調査をおこない、市に報告をすると共に提言をしました。(狛江市議会HP→「市議会の活動」→「所管事務調査報告」で見ることができます)

今後2年間は新たに建設環境常任委員会に所属し、与えられた様々な件について、議論、調査、研究を重ね、市政発展につなげてまいります。

自民党・明政クラブとして災害に見舞われた東京都大島町(土砂)や熊本県熊本市(地震)を行政視察し災害状況、その後の対応と課題、これからの備えについてお聞きしました。



また災害時相互応援協定締結都市である静岡県三島市では防災意識の高さ、市独自の素晴らしい取り組みを確認しました。

視察で得たものを自民党・明政クラブとして狛江市民の生命・身体・財産を守るために活かすことはもちろんのこと、個人としても地域活動として所属する避難所運営協議会、青少年第二育成委員会の防災事業などに活かしてまいります。



市政に関するご意見・ご要望がありましたらぜひお聞かせください。

(しの浩司後援会事務所) 〒201-0014 東京都狛江市東和泉2-18-1
TEL.090-3909-2747 FAX.03-4496-4803 E-mail ko-g@tokyo.zaq.jp